

## 『日本語の研究』第19巻2号 特集企画

### 「国際的観点からの日本語研究」

——投稿募集のお知らせ——

2022年3月3日

日本語学会編集委員会

#### 〔趣旨〕

日本語研究の重要性を社会に向けて発信していくことは日本語学会の大きな使命であり、様々な困難が噴出するこの時代において、国際交流の必要性はますます重要になっていると考えられます。これに対する具体的実践として、現在日本語学会では国際化推進のためのワーキンググループを編成し、外国語による学会発表・論文投稿のシステム作りに着手しています。

こうした動向を踏まえ、編集委員会としては機関誌『日本語の研究』第19巻2号(2023年8月1日刊行予定)において、「国際的観点からの日本語研究」というテーマのもと、特集号を企画することといたしました。このテーマには、対照言語研究、言語類型論、言語接触の諸相、日本語教育等が含まれるのはもちろんですが、たとえばキリシタン資料や洋学資料の研究、欧文脈の影響や日本と外国の言語文化交流史なども包摂した、通時面・共時面の多岐に亘る広い範囲の研究分野が含まれます。

#### 〔投稿募集〕

上記の特集号企画に対する、みなさまからの御論考(論文、研究ノート、資料・紹介、短信)を募集いたします。御投稿くださる場合は、日本語学会ホームページ上の『『日本語の研究』電子投稿システム』をご利用いただき、題目の冒頭に【特集への投稿】と記してください(記載の無いものは通常の投稿となります)。「投稿規程」「執筆要領」「査読審査基準」は、通常の投稿と同じです。投稿の締切は、2023年1月31日(月)です。

なお、2022年9月30日までの投稿分については、システムの構造上、「掲載予定巻号」欄が自動的に「18巻3号」ないし「19巻1号」と表示されますが、【特集への投稿】と記された原稿は「19巻2号」の特集への投稿として扱います。

以上、会員のみなさまにはなにとぞ本企画の趣旨をご理解いただき、日頃の御研鑽の成果をお寄せくださいますよう、お願い申し上げます。

投稿についてのお問い合わせは、編集委員会のメールアドレス(journal@jpling.gr.jp)までお願いします。

(文責 橋本行洋)